

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 5月 2日 更新

事務事業名	コミュニティバス利便性向上推進協議会参画事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	市長公室	
	施策	25	公共交通の充実			所属課	企画課	
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11627	根拠 法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法 律 道路運送法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	バスロケーションシステムを導入し、バスの位置情報の把握及び利用者への情報提供(スマートフォン等による)を行い、レターバスの利便性向上を図る。なお、本事業は「広域連携プロジェクト(スクラムチャレンジ)推進事業」を活用している。導入後については、システムの利便性の向上及びシステムの維持管理を行う。
【業務の流れ】	バスロケーションシステムの導入に賛同する自治体で構成する協議会(または委員会)への参画。費用負担、開発・運営体制等についての検討・協議。システムの導入及び維持管理。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協議会へ参画しバスロケーションシステムの維持管理に伴う負担金の支払いを行った。	協議会への参画
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 協議会への参画	⇒ 回 負担金(コミュニティバス利便性向上推進協議会)の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ 市民	⇒ ア: 市民 (単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ コミュニティバスを利用しやすくなる	⇒ ア: 市が委託しているバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがあると答えた市民の割合(市民アンケートより) %
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア イ	回	2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア イ	人	62,707	63,189	63,600	63,841	64,614	65,500	66,000	66,500
③ 成果指標	ア イ	%	17.3	15.3	17	9.9	17.5	18	18.5	19
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	17	193	215	215	210	215	215	215
	(A) 事業費計	千円	17	193	215	215	210	215	215	215
人 件 費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	0	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	60	40	100	40	100	100	0	0
	(B)人件費計	千円	237	157	398	156	398	398	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	254	350	613	371	608	613	215	215

事務事業名	コミュニティバス利便性向上推進協議会参画事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	------------------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共交通機関の利用率が低下していることが原因と考えられる。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協議会に参画しバスロケーションシステムの維持管理が徹底できればレターバスの利便性向上が図られる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 バスロケーションシステムをより利用し易くすることで、レターバスの利便性向上が図られる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 維持管理費のコストについては固定費であり、菊陽町との協定による費用負担割合 (1/2) によって負担しているため削減余地がない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員。業務時間数で実施している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公共交通に関する事業であり、全市民が利用できるため公益性が高い。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 協議会の負担金及びコミュニティバスの情報提供は行政の役割であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

バスロケーションシステムの情報提供により利用者の利便性向上に繋がったと共に、システムのデータにより実運行時間に沿ったダイヤ改正を図ることが出来た。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						